



(株)大成経営開発 統括室発行

もうまもなく梅雨入りですね。子供の頃は、長靴履いてわざわざ水溜りの中に入っていったりして、結構雨の日を楽しんでいたのを思い出したりします。今は、「外出したら濡れちゃうな。」とか「洗濯物乾かないな。」とか、ぼやいてばかり。状況を楽しむお子ちゃまの心、忘れたくないものです。ではでは、梅雨のジメジメも吹き飛ばす勢いで、今月も頑張っちゃいませよ。



今月のピックアップ

1. 社長室から、こんど~です
2. 土地家屋調査士 的場先生より
3. 経営まめ知識
4. 顧問先様のご紹介
5. お勧め本のご紹介

◆ 社長室から、こんど~です

雨も降らないうちに、日々日差しが強くなり暑くなって来ましたね~。多分このお便りが皆様のお手元に届く頃には、梅雨入りして雨の日々かもしれません。。いずれにしても、お天気に左右されず、心はいつも晴々としていたいものです!!

今日は、私が勉強し続けている経営人間学講座についてお話させていただきます。この人間学講座は福岡で毎月1回開講されており、私も10年位前から勉強させていただいております。先生は竹内日祥上人で大阪の妙見閣寺の御住職です。お正人様の講座は、思想・価値観の勉強です。学校で教えてくれない人間の価値観について勉強していますが、とても難しいです。その中で分かりやすく、よく理解できたなどと思うことをご紹介します。よく耳にするんですが、「馬鹿な社員が馬鹿なことをして困ったもんだ。」など、聞かれたことがあると思いますが、お上人様曰く、「馬鹿な人が馬鹿なことをする。それは当たり前の事。それを責めてはいけません。賢い人は馬鹿なことはしない。社員が会社の立場になって物事を考えてくれる会社は、素晴らしい会社だ。その為には、価値観の共有が必要である。その為には会社は人材教育をしなければならない。」と言われます。

【人は育てたように育つ】

子は育てたように育ちます。誉めても叱りつけても、どのように接したとしても、人はそれに応じた育ち方をします。子を見れば親がわかり、部下を見れば上司がわかり、社員を見れば社長がわかる。人が勝手に一人で育つことはありません。人は育てたように育っています。周りには自分自身を映す鏡です。相手がそうしているのは、自分がそうしてきたから。周りが助けてくれないのは、自分が周りを助けてこなかったから。部下が上司を信頼しないのは、上司が部下を信頼してこなかったから。得るものを変えるためには、まず与えるものを変えれば良いのです。他人を変えなければ、自分を変えれば良いのです。人を育てなければ、自分が育つ姿を見せることなのです。(経営人間学講座より)

自社でも、今、毎月1回人間学の勉強を始めました。人間学のテープは大成にあります。もし聞いてみたいと思われる方はご連絡下さい。入門編を差し上げます。

また、前よりお知らせしておりました、大成&SYワークス熊本の勉強会の1回目を7月24日に開催致します。2時間勉強会をして、その後異業種交流会をします。会費は両方で、1万円で、先着20名様です。宜しくお願いします。

さて、7月になると、税務署さんも異動の時期がやって来ます。税務調査も今月で終わりですね。また来期

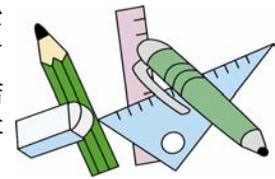
8月から始まります。前回調査から3年経過されているお客様、準備はOKですか？人間とは不思議なものです。何かあった時は、あれもしよう、これもしようと思うものですが、すぐ忘れます。いつ見に来られてもいようにしておきましょう！

(株)大成経営開発社長 近藤 記

◆ 土地家屋調査士 的場先生より

土地家屋調査士の的場です。土地家屋調査士の主な仕事は、皆様の財産である土地・建物を詳細に調査測量することで、その姿・形を明確にして、不動産の取引の安全を保証し、誰もが皆安心して、取引できるようにすることです。有名な東京の六本木ヒルズの開発計画では、境界や面積の確定作業に約4年を費やしたと聞いております。

境界を正確に反映した、地積測量図を整備することが必要です。後々に憂いを残さない事が一番大事なことと思います。お客様の問題に対して、答えを出すことを心掛けています。場合によっては、何もしないこと、或は、時期を待つことが、問題解決に良い結果を及ぼす事もありますので、事前に相談下されれば幸いです。誠実をモットーに、仕事に取り組んでいきますので、宜しくお願ひします。



(土地家屋調査士 的場 記)

◆ 経営まめ知識

今月は、先月お話しした環境変化対応と戦いの哲学についてお話をしたいと思います。約2500年前に書かれたと言われている帝王学(人間学・心理学・組織学・政治学・人文科学)の原点である『孫子』に書かれていることです。科学者の間では、心理学的に人間の叡智は2500年前に出尽くしたと言われていいます。人間は誰でも意識しているようがいまいが、常に3つの戦いをしていっているとされています。その3つとは、**1つ目が環境との戦い**、**2つ目が組織との戦い**、**3つ目が自分との戦い**だそうです。なんとなく背けるような気がします。

一つ目の環境との戦いとは、人間は誰でも地球上に生まれた時点で自分の生まれた時代環境があり、その時代環境に如何に適正に適応できたかという事です。また、毎日外界から自己に対してふりかかるあらゆる出来事に対して、如何に適正に対応できたかということです。この事を自己として理解できるためには、相当の自己洞察と大局観がないと理解できない様になっているみたいです。環境との戦いに適切に対応していく人が、世の中幸せに生きているみたいです。

二つ目の組織との戦いとは、人間は誰でも一人で生きていくことは出来ません。いろいろな組織に属する事になります。まず生を受けた時点で、宇宙、地球、国家、会社、学校、友達、家庭など色々な組織に属している事になります。最大の組織単位が宇宙・地球であるとするならば、最小単位が家庭ではないでしょうか？その次が、友達・学校・会社ではないでしょうか？私たちは自意識はありませんが、家庭と会社の事で悩んでいる事が多いみたいです。家庭の人間関係が円満で、職場での人間関係もうまくいっている人は本当に幸せではないでしょうか？

三つ目の自分との戦いとは、人間はほかの動物と違って自我があります。時代を意識し、組織を意識し、自己を意識する事の出来る唯一の動物です。喜怒哀楽という感情があり、考え行動する事のできる理性をも持ち合わせています。人類の歴史を調べれば神がかり的な力がある反面、動物的よわさをも持ち合わせています。常に考える輩です。自己洞察を深めれば深める程、精神世界と他人と世の中の事が観えてくる逆転現象が起こるみたいです。

私は、この3つの戦いについて勉強させて頂いて考えた事をまとめてみたいと思います。まず人間は、自分との戦いにおいて周りの人(歴史)から食欲に学ぶために、明るく、素直に、元気に、良い事だけを考え、よい事しか見ない見えなくて生きていく。そうする事により組織との戦いにおいて、家庭を会社を出逢う全ての人々を、明るく、元気に、勇気づけることが出来、幸せになる事が出来るのではないだろうかと……。でもそのためには時代環境との戦いにおいて、世の中の大衆心理 = 時流 = トレンド = 一般方向 = ニーズ が判らなければ、何も成果を得られないのではないだろうかと考えました。それは、人間関係の中でしか、人間は喜びを感じられないからだと思うからです。

この孫子の戦いの哲学について、まとめていて思い出した事があります。それは、コンピテンシーです。聞いた事がある方もいらっしゃると思いますが、成果を残す人の行動特性という意味です。来月はコンピテンシーについてお話をさせて頂きたいと思います。

(大成コンサルティンググループ会長 石本 記)

◆ 顧問先様のご紹介

今月ご紹介させていただき顧問先様は、イシヌキチョウリ様です。

厨房機器の販売をされている会社です。創業は昭和 23 年とのことですから、60 年の歴史のある会社です。たいせいグループ通信3月号の「社長室から」にも載せましたように、会社を興して10年続く会社は3.5%、50年続く会社はわずか0.7%という事実を考えますと、この社歴はすごいことですね。もともと時の経過と共に、とりまく環境は大きく変化してきたことでしょうか、絶え間ない努力を続けてこられたことと思います。頭が下がります。

お邪魔した時、実演調理会(クッキングライブ)があつてました。厨房機器を売るだけではなく、こういったデモンストレーション、フォローアップがあるのは、購入する側からしたらとても有難いところでしょう。飲食店関係の方で厨房機器に日々携わっている方は、色々ご相談されてみてはいかがでしょうか。とても気さくな社長様と明るく綺麗なマネージャー様の対応で、話も弾むことでしょう。



◆ お勧め本のご紹介 「鈍感力」



著者：渡辺淳一
出版社：集英社
価格：1,155 円

あまりにも有名な本で書評など沢山出ているので、今更ご紹介するのも気が引けますが、お勧め本に登場してもらいます。

日頃、鈍感という言葉はマイナスのイメージで使われることが多いですよ。職場においては、“打てば響く”ぐらい反応が良いことが望めます。しかし、敏感である人は、そうあるがゆえに、他人の言葉に傷つき、悩み、苦しむことも多いのかもしれない。いい意味で“鈍感”でいることが出来れば、周りに流されずに、楽に生きて行けるのではないかと、この本を読んで考えさせられました。

他人に対して寛容であること。人の言動に過剰に反応しないこと。大らかに日常を過ごしていくこと。日々実践していきたいなと思います。

編集後記

先月中旬、大成本社入口に花壇が出来ました。今までタマツゲでしたので、随分雰囲気が変わりましたヨ～。花がある暮らしは良いですね。弊社にお越しの際は、花壇をちょっと眺めていただけると嬉しいです。金魚の時の生き物係に続いて、お花係も決まりました。和さん、日々の手入れ大変でしょうけど、宜しくお願いしますね。

発行元 (株)大成経営開発 統括室

〒862-0965 熊本市田井島 1-3-50 TEL:096-377-1101 FAX:096-377-1114 E-mail:taisei-k@arion.ocn.ne.jp